

事業者向け 児童発達支援自己評価表 集計結果

実施：平成29年11月

公表：平成30年 7月10日

事業所名 通所支援事業所「すまいるⅡ」

◇環境・体制整備について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
②	職員の配置数は適切であるか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・1対1でゆったり関わるにはスタッフ不足と感じている。 ・職員が休んだ場合は、すまいるから助っ人を頼んでいる。
③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の上がり口が段差があるので、今後はバリアフリー化を行い改善していくのが必要だと思う。 ・玄関に少し段差があることが気になる。 ・段差があるため ・室内は構造化された環境になっているが、建物の外回りに段差があるので改善の必要があると思われる。 ・空間に区切りがないため、構造化された環境とは言いづらい。
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・その目的に合わせたスペース作りを行っている。 ・玩具で遊ぶ場所、運動遊具で遊ぶ場所など、活動に合わせた空間作りをしている。

【今後の対応として】

③ - 玄関の段差については、できるだけ早いうちに解消できるように検討中。

◇業務改善について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有、会議などが行われている ・週に一度は全職員で子どもたちの振り返りをしている。
⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の時間に保護者との会話で情報収集するように心掛けている。 ・私個人としては、なかなか保護者とゆっくり時間を取って話す機会があまり無く、改善すべき時間作りをしていきたいと思う。
⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		6		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなどの情報公開の場が無いので、今後は、会報などによって公開する場を設けていきたいと思う。 ・ホームページ等はあるが、評価等の公開はしていない。
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4		
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・確保されている。 ・できる限り研修には参加をし、資質向上を目指している。 ・積極的に参加できる仕組みはきちんと整っている。 ・できるだけ研修に参加できるよう配慮されている。

【今後の対応として】

⑥ - 事業所評価をホームページに掲載する予定。

⑦ - 法人本部を含めて検討・協議していきたい。

⑧ - 第三者委員については、現在検討中。

◇適切な支援の提供について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			・職員同どうしの話し合いの中で、しっかりと子どもと保護者の思いを受け取って作成している。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4		・標準化されたアセスメントツールがない（指標となるものがない） ・標準化したものはない。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・リーダーが中心となって、皆が意見を述べられる場がある。
⑮	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	6			・その日の子どもの様子から変えるときもある。 ・個々の状況や状態によって対応する工夫がなされている。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			・一斉活動と個別時間を分けて、個々に応じて対応するように心掛けている。 ・友だちとの集団活動、職員との個別活動を考えながら作成している。 ・子どもの発達に応じながら活動を行っている。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・打ち合わせに間に合わない場合は、その日の打ち合わせ内容を記録し、共有している。 ・朝の打ち合わせを毎日行い、その日の活動内容などを確認している。 ・朝の打ち合わせで支援内容を確認、皆で統一できるよう工夫している。 ・朝のミーティング、連絡ノート等で行っている。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		・その日の内に打ち合わせするのは難しく、週に一度、一週間の振り返りを行っている。問題点があれば、すぐに職員同士で話し合う。 ・その日にできない時には、次の日の朝の打ち合わせにて行っている。 ・気付いた点をその日のうちに記録するように努めている。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・全職員での振り返り時間と個々に担当時に対応して記録を取っている。 ・子どもの行動、情緒など気づいた事があればすぐに記録している。 ・振り返りの時間で、意見交換や情報の共有で記録に残しつつなげている。 ・同上
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		・振り返りの時に、支援計画の支援方法を確認、検討できるように努めている。

【今後の対応として】

⑩ - 2月に各事業所からアセスメント研修に参加。支援計画立案の際に採用するか現在検討中。

(Vineland - II 適応行動尺度)

⑮ - プログラムが固定しないような工夫を今後も努めていく。

◇関係機関や保護者との連携について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	4		
㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			
㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		※4		※・対象児がない
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		※4		※・対象児がない
㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			・相互に見学等を実施して情報交換を行っている。 ・お互いに見学をしたり、情報交換をしたりを行っている。
㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3	※1	・子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を聞き、支援内容を考えている。
㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	※1	
㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	※1	・自分自身は、他の施設との交流の機会をなかなか設けられないが、子どもはそれぞれの地域の保育所や幼稚園等を利用している。
㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	3	・なかなか時間が取れず、反省すべき点である。
㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎時に保護者と子どもについての話す時間を設け、共通理解できるようにしている。 ・お迎え時に話をし、利用時の様子を伝えている。 ・送迎時や連絡帳に気付いた点を述べるようにしている。 ・子どもの送迎時に、保護者との話を聞いたり、伝えたりしている。 ・日々の送迎時、保護者との共通理解を持ち、支援に関わるよう努めている。
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2		・もっと積極的に参加を呼びかける必要があるかもと感じる。 ・ペアトレ研修への参加を呼びかけている。 ・個人としては、なかなか時間が取れず、今後は保護者に対してもしっかりと話を聞き支援していきたい。

【今後の対応として】

- ㉑ - 子どもの状況に精通した職員が参加できるように努めていきたい。
- ㉕~㉘ - できるだけ連携が図れるように努めていきたい。
- ㉚ - 家族支援プログラムに関しては、様々な機関で行っている研修等も含め、できるだけ保護者の皆さまが参加できるように、今後も努力していきたい。ペアレント・トレーニングの研修を受講した職員もいるので、保護者の希望も含めて確認し、機会があれば取り入れていきたい。

◇保護者への説明責任等について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
③②	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・ 契約時に、管理者より丁寧に説明をしている。
③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			・ 得ている。
③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的ではないが、悩み等の相談には随時対応している。 ・ 定期的ではなく、保護者からの子育ての悩みには対応を行っている。 ・ 定期的ではないが、保護者との関わりも大事にし、話があればしっかりと聞き入れて応じている。 ・ 定期的ではない。 ・ 送迎時の時間だけでは、不十分なことも実際にある。
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流会を開き、保護者同士が話し合える場を作っている。 ・ 法人として保護者会を行っている。 ・ 年度末に保護者会を開催している。 ・ 年度末に行っている。 ・ 年に一度、保護者会を開催している。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月通信を発行して伝えている。 ・ 毎月通信を発行し、保護者に活動内容を伝えるようにしている。
③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6			・ 注意している。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ よく分からない ・ 極力努めている。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		・ 地域住民にも理解してもらえるように、積極的に対応していきたい。

【今後の対応について】

④⑩ - ご家族の思いに配慮しながら、地域に開かれた事業運営ができるよう努めていきたい。

◇非常時等の対応について

	チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			・感染症に関しては、まだ十分とは言えないと思う。
④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・いろいろな状況を考え、職員同士で前もって話し合い、訓練を行っている。 ・定期的に様々な災害に対応できるよう避難訓練を行っている。
④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6			・服薬依頼書を作成し、事前に記入をしてもらう対応をしている。 ・車の（送迎用）中にも、てんかん発作時の対応の仕方などを入れて確認している。 ・体調や様子の変化に気づくことができるよう、日々努めている。
④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4		・アレルギーを持つ児童がほとんどいないため ・保護者からは、その情報をいただき確認をしてから対応している。
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・マニュアルを作成し、全職員対応できるようにしている。 ・共有している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・虐待についての研修や勉強会、意見交換会をもっと増やして欲しいと感じる。 ・虐待の研修を受けられるよう配慮されている。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	3		・災害時や緊急時等の特記として示す必要があるのではないかと思う。 ・なるべく身体拘束をせずに接していきたいと思っている。

【今後の対応として】

- ④1 - 非常時に備え、各マニュアルを保護者向けに作成して配布する予定。
- ④3 - 医師からの指示書などを提示いただき、事故がないように努力していきたい。
- ④7 - 災害時の避難など、必要に迫られる場面も想定できるので、今後は児童発達支援計画に記載するようになりたい。